

「道補助制度(中小企業競争力強化)等の利用企業等調査結果」概要

【調査方法】 対象企業に調査票を送付し、FAXで回答するアンケート方式で実施

【調査時期】 平成28年9月～10月

【回答状況】 全体の回収率は43.0%

区 分	送付数	回答数	回収率
条例事業の利用企業 (H23～H27)	177社	76社	42.9%
ものづくり補助金の採択企業 (H24～H27)	123社	53社	43.1%
合 計	300社	129社	43.0%

【調査結果】

1. 利用企業の評価

(1) 補助事業の認知方法

指定事業者である「北海道中小企業総合支援センター」からの紹介が中心(4割)を占め、それ以外の認知経路は少ない。

(2) 補助メニューに対する改善要望

- | | |
|--------------------------|-----------|
| ①補助対象経費 (人件費を追加、機械装置を追加) | ②補助率の引き上げ |
| ③補助上限額の引き上げ | ④事業期間の延長 |
| ⑤提出書類の簡素化 | |

(3) 類似事業の検討状況

「検討したことがある」と回答した企業が「検討したことはない」と回答した企業を上回っており、検討した他の補助事業としては、ものづくり補助金との比較検討が多かった。

(4) 経営課題

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1位 <u>新製品開発</u> | 2位 <u>販路開拓 (国内)</u> |
| 3位 <u>人材確保</u> | 4位 <u>人材育成</u> |
| 5位 <u>営業力の強化</u> | |

※参考 1位の新製品開発関連との比較：7位・新技術開発、10位・新分野進出

(5) 創設または拡充してほしい補助メニュー

- ・設備投資 ・販路開拓・拡大 ・技術者の育成 ・人材の確保

2. 未利用企業の評価

(1) 道補助事業の認知度

「知らなかった」と回答した企業が過半数以上。

(2) 類似事業との競争力

補助率が高さ、補助上限額の大きさ、最新鋭の機械装置等の対象費用化などにより、ものづくり補助金の競争力が高いとの評価。

(3) 経営課題

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1位 <u>人材育成</u> | 2位 <u>人材確保</u> |
| 3位 <u>機械による省力化</u> | 4位 <u>コスト低減・生産性向上</u> |
| 5位 <u>新製品開発</u> | |

※参考 5位の新製品開発関連との比較：6位・新技術開発、10位・新分野進出

(4) 創設してほしい補助メニュー

- ・生産性向上、省力化のための機械設備 ・他の地域からの人材確保
 ・海外展開に向けた語学研修などの対象事業化

ベンチマーク: 企業の利用にあたっての比較検討状況や、利用企業の評価を踏まえ、ものづくり補助金(革新的なものづくり・商業・サービス開発支援事業)をベンチマークとして設定し、改善方向を検討